

令和5年7月21日

大阪市在宅医療・介護連携推進会議資料

# 令和 4 年度

## 区役所・相談支援室の 取組みについて

# 在宅医療・介護連携推進事業～大阪市の取組み～

## 在宅医療・介護連携推進事業大阪市の取組み体制

～ 「PDCAサイクルに沿った取組項目」 ～

**区役所**  
を中心に事業実施

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

(ロ) 医療・介護関係者の研修

(ハ) 地域住民への普及啓発

**相談支援室**  
を中心に事業実施  
(地区医師会等に委託)

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

**連携**

**P**  
計画

**D**  
実行

**C**  
評価

**A**  
改善

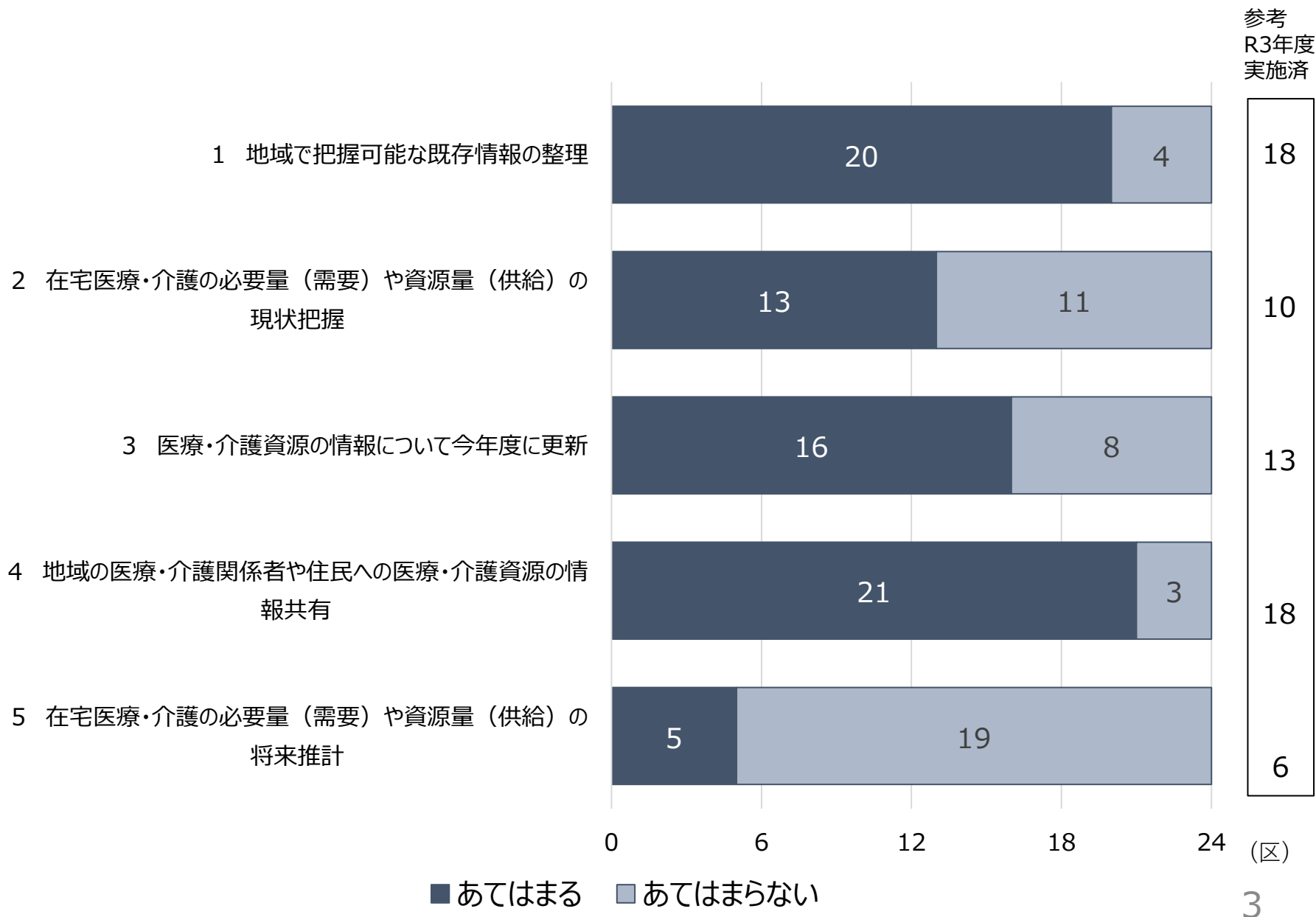
を繰り返しながら

**健康局**  
を中心に検討

- ・在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
- ・総合事業など他の地域支援事業との連携 等

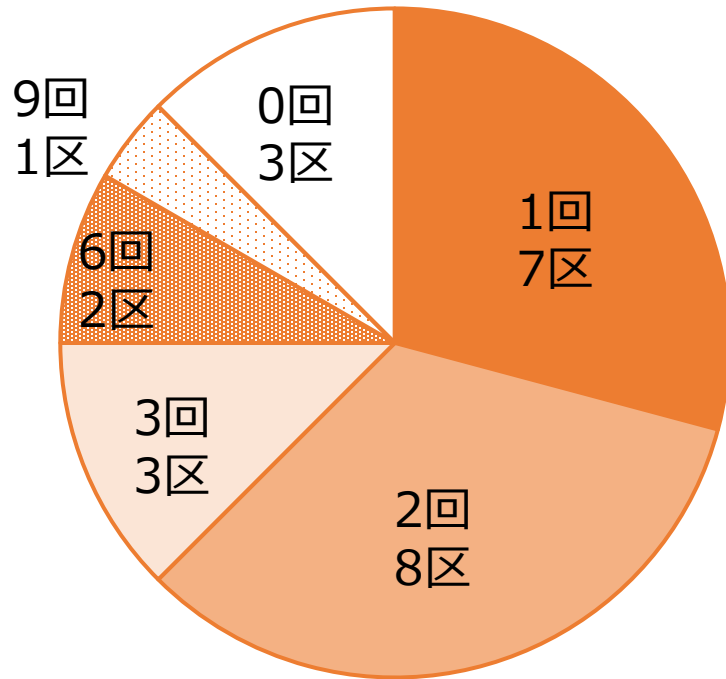
# **I . 区役所の取組み**

# (ア) 地域の医療・介護の資源の把握



# (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

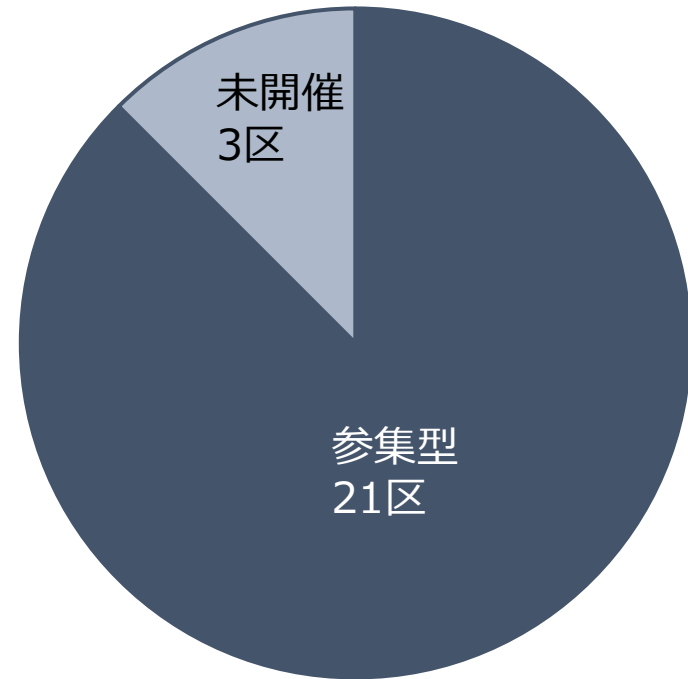
事業の進捗や課題について協議した回数



【開催した区数について】

令和3年度：17区  
⇒令和4年度：21区

会議の開催方法



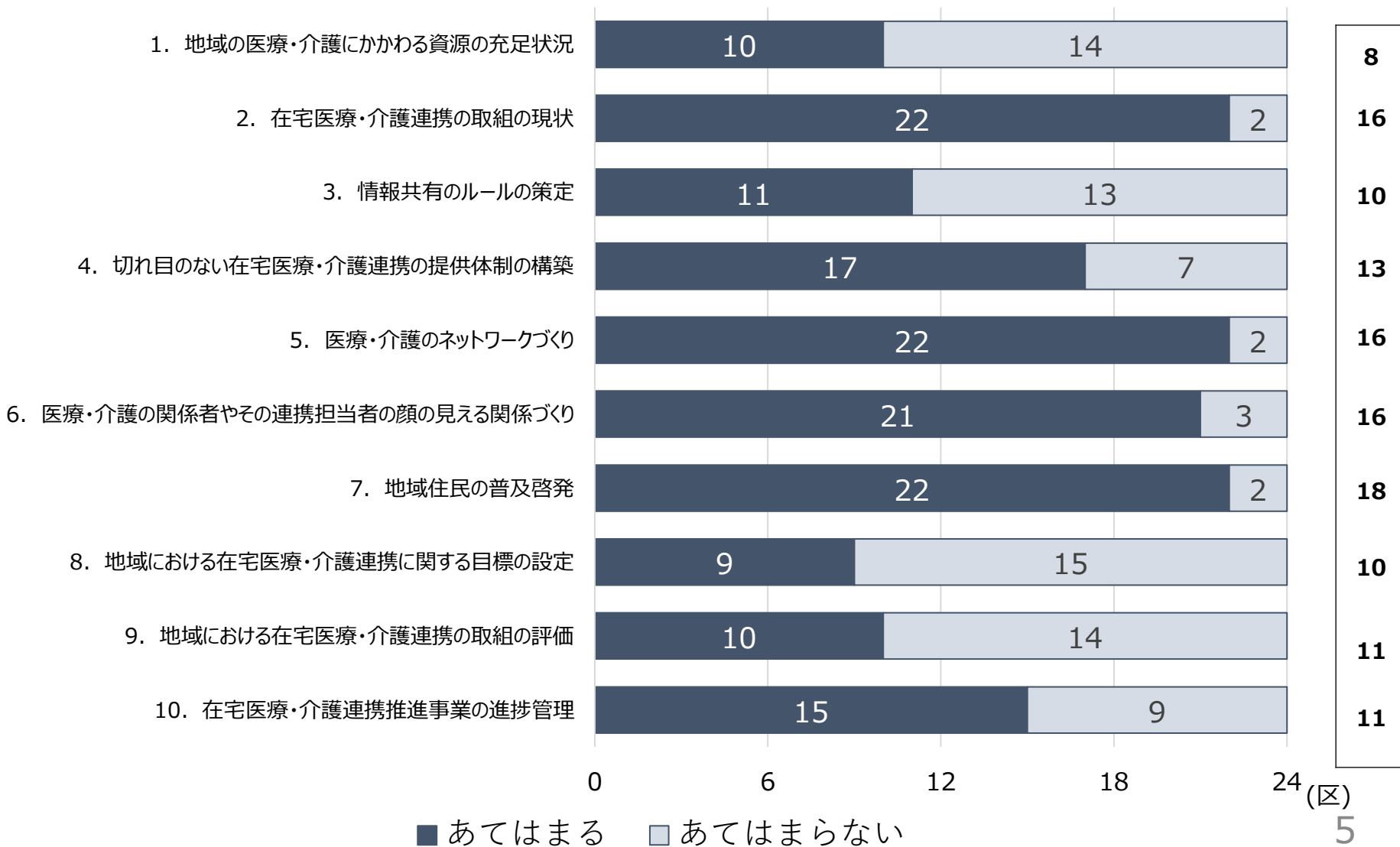
【参集型で開催した区数について】

令和3年度：6区  
⇒令和4年度：21区

# (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

推進会議（ワーキング含む）で検討した内容

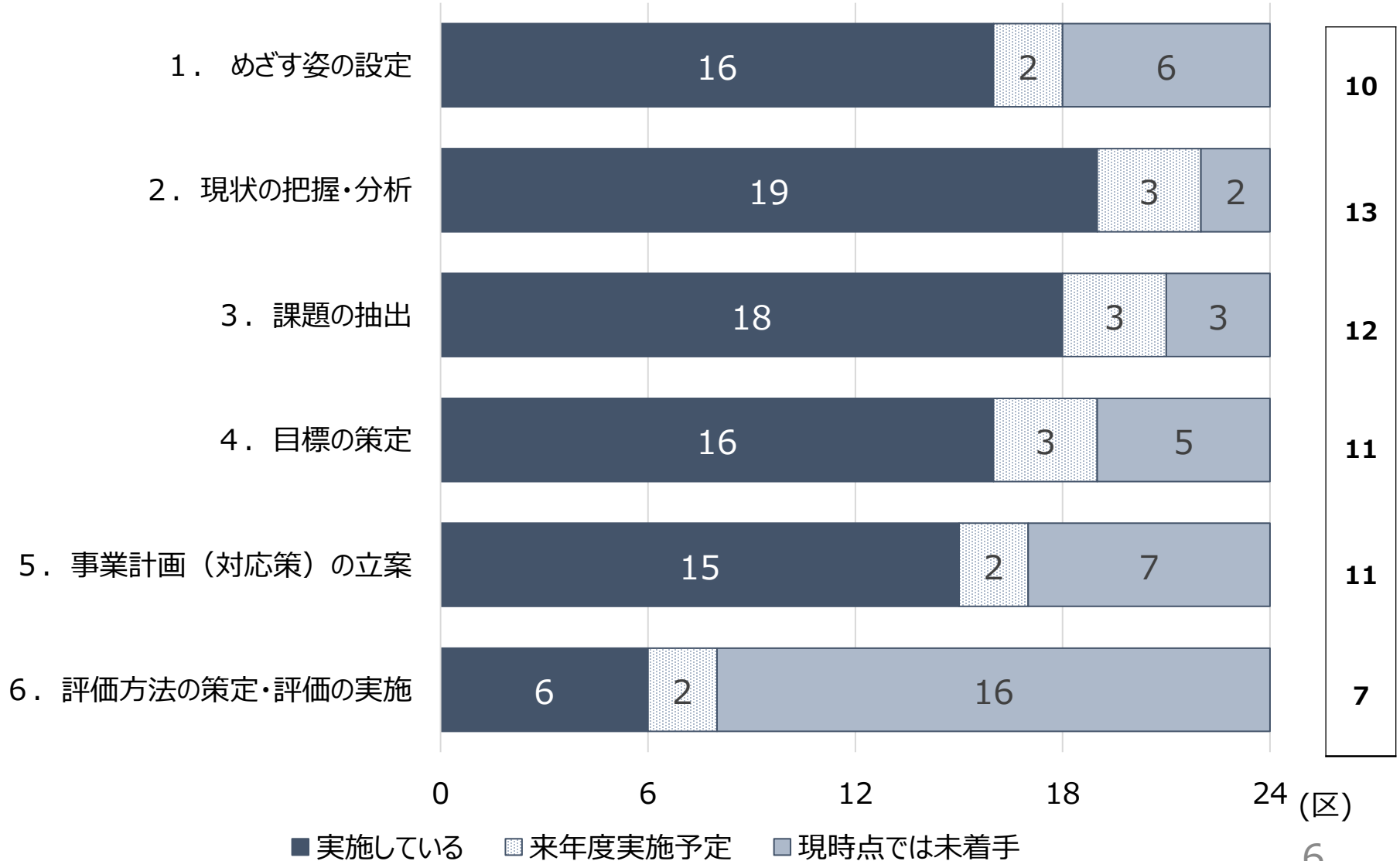
参考  
令和3年度  
検討済



# (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

## PDCAサイクルでの事業の進め方

参考  
令和3年度  
検討済



# (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

## 【具体例】

### 1. 目指すべき姿 の設定

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、多職種協働により在宅と介護を一体的に提供できる体制が構築されている
- 在宅医療・介護連携の推進に向けた、医療機関と介護関連事業者等との「顔の見える関係」を構築できている状態および区民が住み慣れた地域で希望する医療・介護サービスを選択できる状態
- 健康危機に強い地域包括ケアシステムを目指して、通えない患者を支えるため、医療と介護が連携する

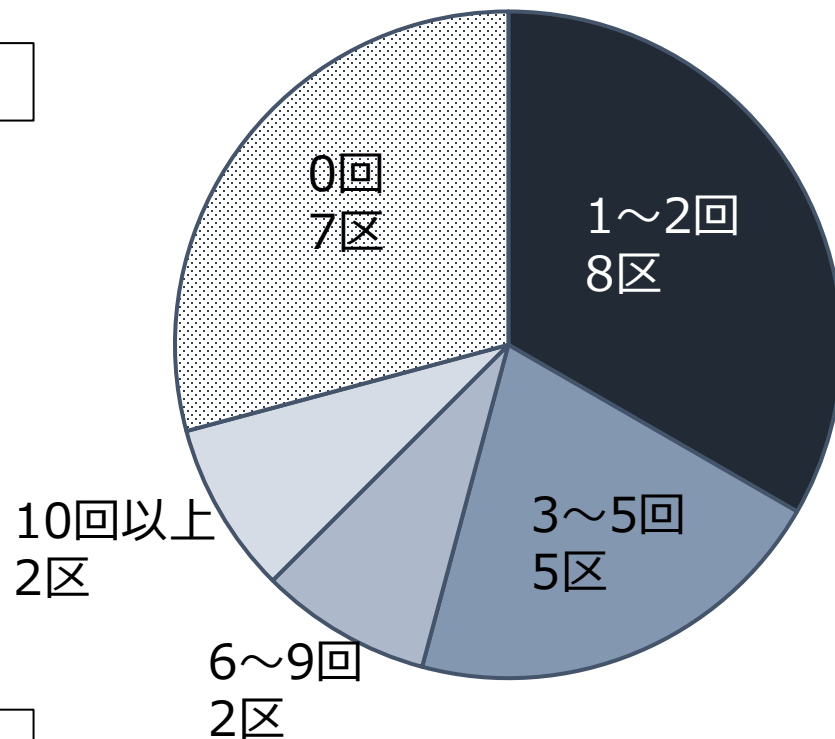


# (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

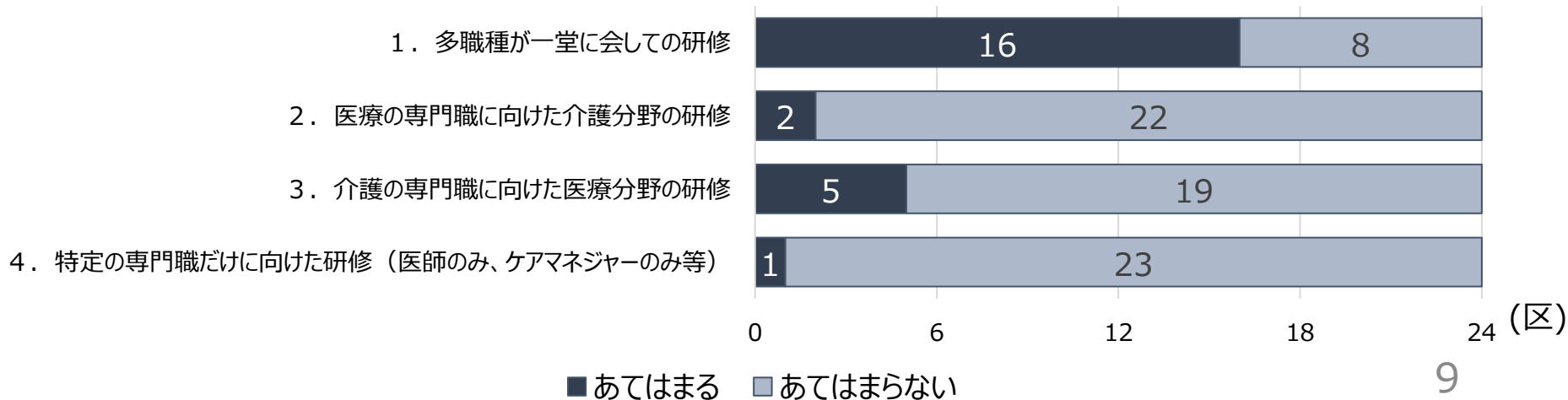
	3. 課題の抽出	5. 対応策の立案
#1	医療・介護の専門職同士の顔の見える関係づくりなど多職種連携の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>医療介護連携ネットワーク会議の定期開催による情報共有、連携強化</li><li>多職種研修会の開催による関係者のスキルアップ、多職種間の連携強化など</li></ul>
#2	区役所とコーディネーターとの連携	<ul style="list-style-type: none"><li>区役所担当者とコーディネーターが定期的（2か月に1回程度）に意見交換・打合せの会議を開催し、十分な意思疎通を諮る</li></ul>
#3	「人生会議（ACP）」の普及啓発など在宅医療に関する住民啓発	<ul style="list-style-type: none"><li>ACPの認知度に関する市民向けアンケートの実施</li><li>いい看取りの日に合わせてACPに関する講演会の開催</li><li>区広報誌やリーフレットの配布による周知啓発</li></ul>
#4	介護家族への支援策	<ul style="list-style-type: none"><li>地域包括支援センターやケアマネジャーなどに相談することを啓発する目的で啓発動画を作成</li></ul>

# (力) 医療・介護関係者の研修

研修会の実施回数



研修会の対象者



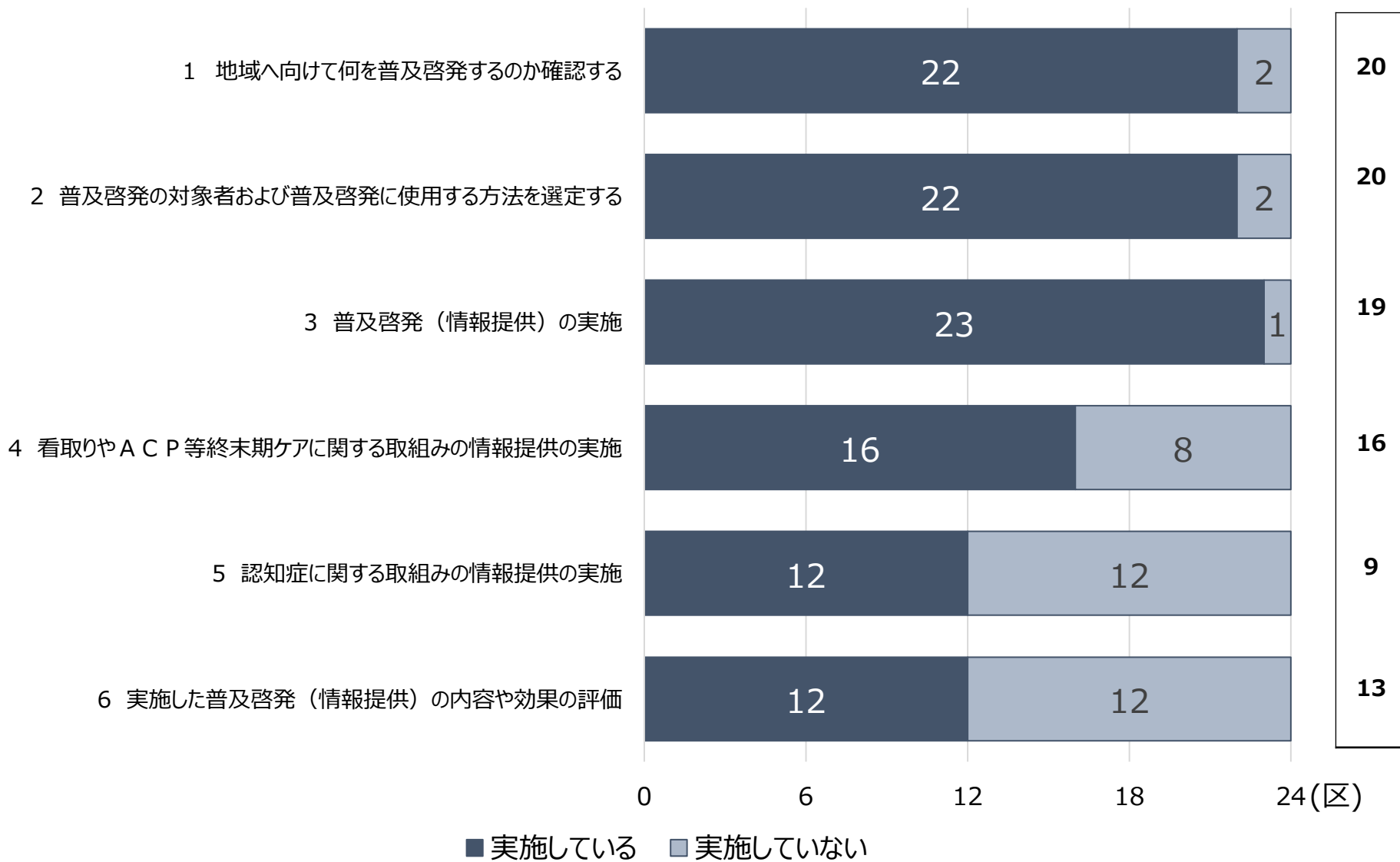
# (カ) 医療・介護関係者の研修

## 研修会のテーマ

ACP	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 終末期に備えた意思決定支援ACP（人生会議、在宅医療と人生会議について）</li><li>・ 「あなたがもしもの時は」カードゲームで考えてみよう</li><li>・ 認知症の人とともにACPを考える</li><li>・ 意思決定支援（ACP）普及推進サポーター養成講座</li></ul>
認知症	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 認知症の方の生活の中での意思決定支援</li><li>・ 認知症がなかなか受容できない家族の支援について</li><li>・ コロナ禍2年、地域医療における認知症への影響</li></ul>
医療	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多職種で支える 脳卒中の方の暮らし</li><li>・ 歯周病と全身疾患とのつながり、訪問歯科に繋ごう</li><li>・ 入退院を繰り返す心不全患者の連携を考える</li></ul>
食生活	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 食べることは生きること研修会「歯科医師・歯科衛生士編」</li><li>・ 食べることは生きること研修会「薬剤師編」</li></ul>
連携ツール	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報が届かない人に必要な情報を届けるために自分たちは何ができるか</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 災害時における多職種連携</li><li>・ 在宅医療における感染対策とKISA2隊の活動から見えてきたこと</li></ul>

# (キ) 地域住民への普及啓発

令和3年度  
実施済



9月 No.316

# ひがしなりだより

9月号のひとしごき

9月は高齢者特刊月です！ **人生会議** してみませんか？

～私のおもいを伝えたい～

1 高齢者特刊月です！ 9月は高齢者特刊月です！

2 人生会議とは？ 人生会議とは、高齢者が生前に、自分の意思を家族や周囲の人に伝えること。また、自分が望む最期のケアや葬儀の準備などについて、事前に話し合っておくことです。

3 人生会議のメリット 人生会議を行うことで、自分の意思を伝えることができます。また、家族や周囲の人に自分の望む最期のケアや葬儀の準備などについて、事前に話し合っておくことで、後悔を減らすことができます。

4 人生会議の準備 人生会議を行うには、事前に準備が必要です。まずは、自分の意思を伝えるための文書を作成することです。また、家族や周囲の人に自分の望む最期のケアや葬儀の準備などについて、事前に話し合っておくことも大切です。

5 人生会議の活用 人生会議を行うことで、自分の意思を伝えることができます。また、家族や周囲の人に自分の望む最期のケアや葬儀の準備などについて、事前に話し合っておくことで、後悔を減らすことができます。

豊かな人生のために

広報 **みなと** No.321 2月号 2023年

# 人生会議

～アドバンス・ケア・プランニング(ACP)～

わたしの人生会議ノートができました！

「知っている？ ACP(人生会議)」～50歳になったら考えよう～

人生会議とは、自分が望む最期のケアや葬儀の準備などについて、事前に話し合っておくことです。また、自分が望む最期のケアや葬儀の準備などについて、事前に話し合っておくことで、後悔を減らすことができます。

人生会議の準備 人生会議を行うには、事前に準備が必要です。まずは、自分の意思を伝えるための文書を作成することです。また、家族や周囲の人に自分の望む最期のケアや葬儀の準備などについて、事前に話し合っておくことも大切です。

人生会議の活用 人生会議を行うことで、自分の意思を伝えることができます。また、家族や周囲の人に自分の望む最期のケアや葬儀の準備などについて、事前に話し合っておくことで、後悔を減らすことができます。

2月号 広報 **ひがしよどがわ**

# 認知症を運動で予防する

認知症予防プログラム「認知症予防」を運動で予防する

認知症予防プログラム「認知症予防」を運動で予防する

認知症予防プログラム「認知症予防」を運動で予防する

認知症予防プログラム「認知症予防」を運動で予防する

認知症予防プログラム「認知症予防」を運動で予防する



9月 No.316

ふれあい **JOTO**

人生会議

かがやく城東の仲間たち

人生会議

# 人生会議

もしものときのために

人生会議の進め方

STEP1 人生会議の目的を明確にします。

STEP2 人生会議の準備をします。

STEP3 人生会議の開催を行います。

STEP4 人生会議のフォローアップを行います。

人生会議の進め方

STEP1 人生会議の目的を明確にします。

STEP2 人生会議の準備をします。

STEP3 人生会議の開催を行います。

STEP4 人生会議のフォローアップを行います。

人生会議の進め方

STEP1 人生会議の目的を明確にします。

STEP2 人生会議の準備をします。

STEP3 人生会議の開催を行います。

STEP4 人生会議のフォローアップを行います。

11月30日は「人生会議」の日!

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の愛称で、もしものときのために、自分が望む人生の最終段階における医療・ケアについて前もって考え、家族や周囲の信頼する人たち、医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組みのことです。

「人生会議」について、より多くの方に知っていただくため、講演会を開催します。

日時 11月30日(水) 14時30分～16時

場所 区民センター 小ホール

講師 北田 博一氏(医療法人興和会北田院長 院長)  
佐藤 貴之氏(区民センター高齢・介護連携推進室コーディネーター)

対象 市内在住・在勤の方 定員 100名(当日先着順)

問合せ 保健福祉課(健康づくり) 1階11番 ☎6915-9882

# 研修会・講演会

今ある時間を、なぜ同じではないのだろう。

大正区在宅医療・介護連携推進事業 じぶんのこころおやのこころ プログラム 大正2022

**いのちの停車場**

大正区在宅医療・介護連携推進事業 じぶんのこころおやのこころ プログラム 大正2022

あなたも、ぜひVR体験してみませんか？  
最新の最新型体験型ACPについて知ってもらいたいです。

## VR看取り体験研修会

2023.1.31 (火)

定員 50名

14時～16時 (開場：13時半)  
福島区役所 6階 大会議室

【対象】 医療・介護関係者 (看取りの理解を深めたい専門家)  
【内容】 看取りをVRで疑似体験して看取りについて考えます。

【お問合せ】  
090-8533-5344 (担当)  
090-8537-3959 (受付)

【主催】 福島区医師会 在宅医療・介護連携推進委員会

創作落語でもっと身近に

## 「人生会議」してみませんか

～最期まで自分らしく生きるために～

あなたも人生の終わりをどのように迎えるのか、前もって意識して人と語り合おうこと、それが「人生会議」です。

【日時】 令和5年 3月16日 (火) 14:00～16:00 (開場13:30)  
【会場】 住吉区役所センター 小ホール (住吉区住吉3-15-56)  
【定員】 150名 (申込先着順)  
【申し込み】 電話またはFAXにて、お名前、ご住所、電話番号を下記お問合せ先へお知らせください。  
令和5年3月10日(金) 締め切り

テーマ：創作落語「天国からの手紙」av  
講師：生島 清寿氏

【お申込み・お問合せ】  
住吉区保健福祉センター  
保健福祉課 (健康推進) 1階 19番窓口  
TEL.6694-9882 FAX.6694-6125

都島区在宅医療・介護連携推進事業区民講演会

## もしもの時に伝えたいこと

「もしも」の時のために、ご自身の思いを周りの人たちに伝えたいためのノートを作成してみませんか？

令和5年2月8日 水 13:30～15:00

場所 都島区保健福祉センター分館 2階 健康増進ホール

講師 いんべ診療所 総務 周先生

定員 20名 (申込要・先着順)

申込期間 1月10日(火)～1月31日(火)

講演会のお知らせ

～自分らしく生きていくために大切なこと～

人生会議とは？

【日時】 令和5年 3月4日(土) 14:00～16:00  
【会場】 阿倍野区役所 2階大会議室 (阿倍野区文の里1-1-40)

参加費無料  
申し込み不要  
定員 150名 (先着順)

在宅医療・介護についての講演会  
「アドバンス・ケア・プランニングを一緒に学びましょう。」

清水 昌之 先生プロフィール

【お問い合わせ】 阿倍野区保健福祉センター (地域保健) TEL. 06-6222-9882

入場無料

## 生野区 認知症・在宅医療 シンポジウム

～みんなで取り組み・支え合う～

【日時】 令和5年 3月11日(土) 14:00～16:30 (開場13:30) 定員 300人

会場 1階 シンポジウム「コロナ禍での生野区の取り組み報告」  
会場 2階 講演会「マスク社会の今だからこそお口のケア」

【お申込み・お問い合わせ】  
【申し込み】 06-6308-9882

在宅医療・介護連携推進事業 多職種連携の為に研修会

【演題】 平時からのつながりと福祉防災

【講師】 大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 教授 野村 航代 様

【日時】 令和4年 10月28日(金) 午後2時～午後4時

【場所】 淀川区役所 5階会議室 via WEB (TEAMS) 参加 ※ハイブリット方式で開催

【内容】 講師によるご講演・質疑応答 各関係機関との意見交換

【お申込み・お問い合わせ】  
【申し込み】 06-6308-9882

令和4年度 認知症高齢者生活支援地域推進事業 / 大正区大正区在宅医療・介護連携推進事業・多職種連携研修会

## 認知症の方の生活の中での意思決定支援

【講師】 MPOA認知症ケア推進センター 講師 沖田 裕子  
【司会】 大正区大正区推進課 課長 鈴木 昇平

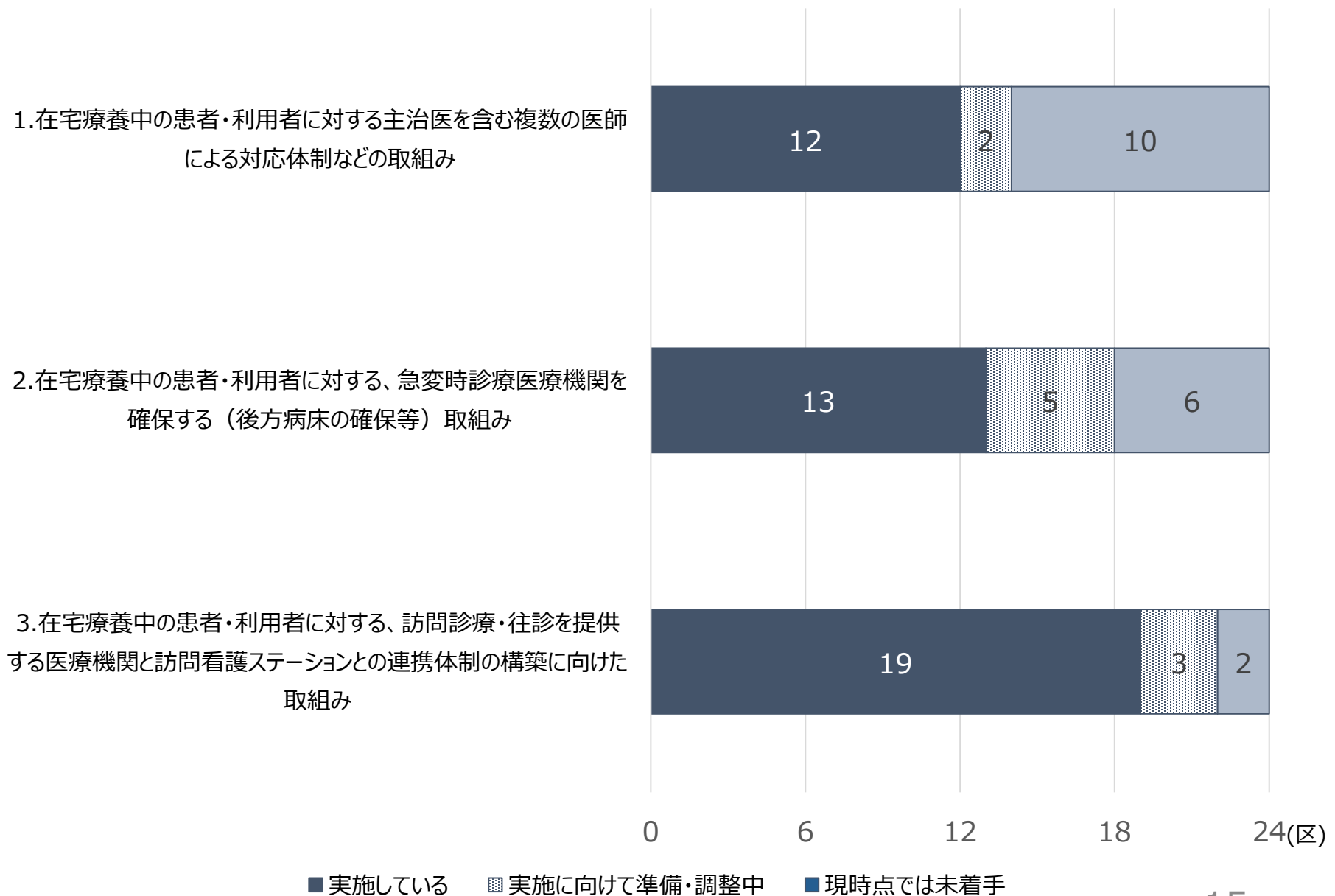
【日時】 令和4年 7月25日(月) 14:00～16:00

【場所】 株式会社社務井組 大正会館 ホール zoomミーティング (定員30名)

【お問合せ】 大正区大正区役所 保健福祉課 (担当：堀川) 電話 06-4394-0882  
【お申込み】 大正区在宅医療・介護連携推進委員会 (担当：堀川) 電話 06-6551-2545

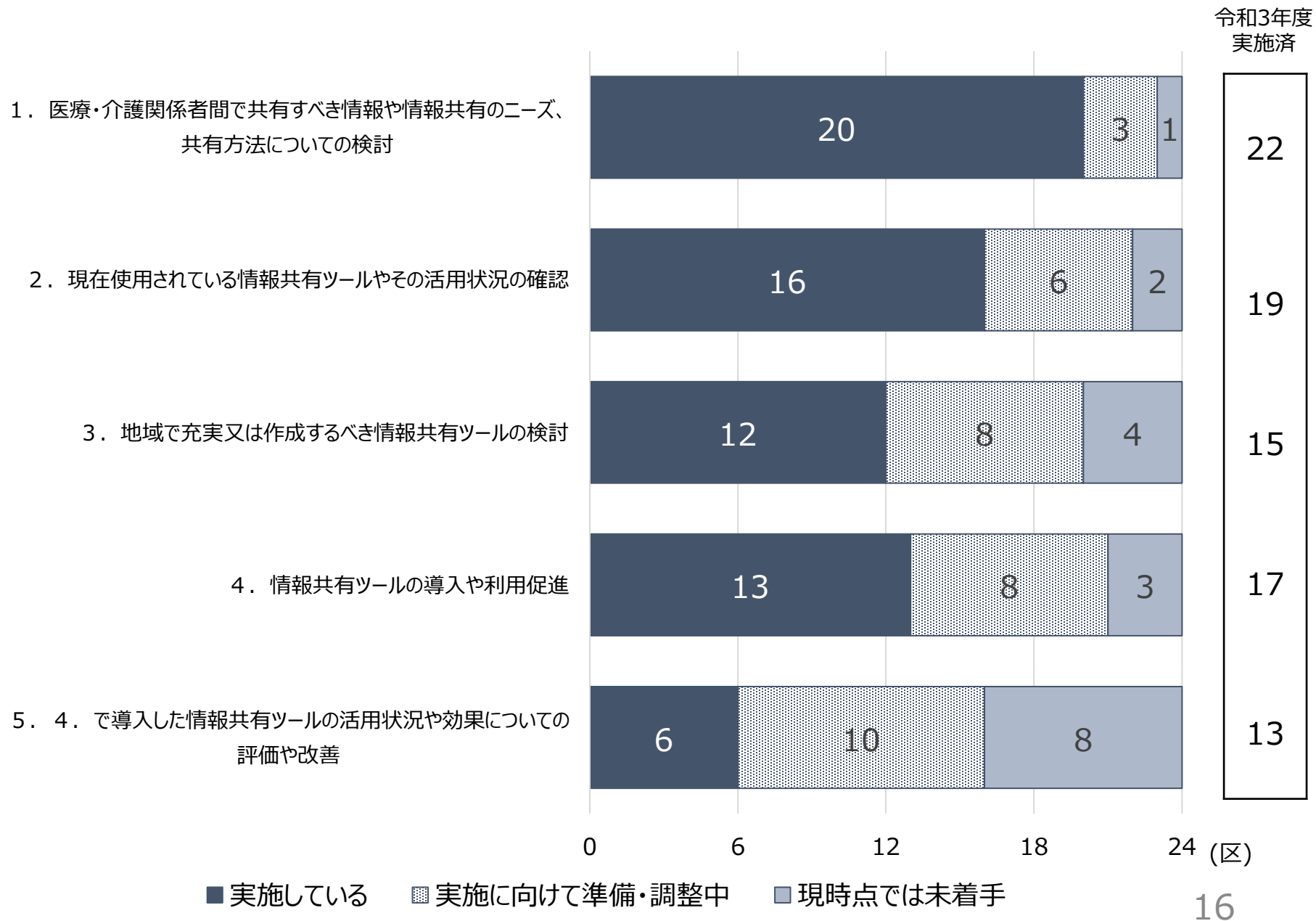
## **Ⅱ．相談支援室の取組み**

# (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進





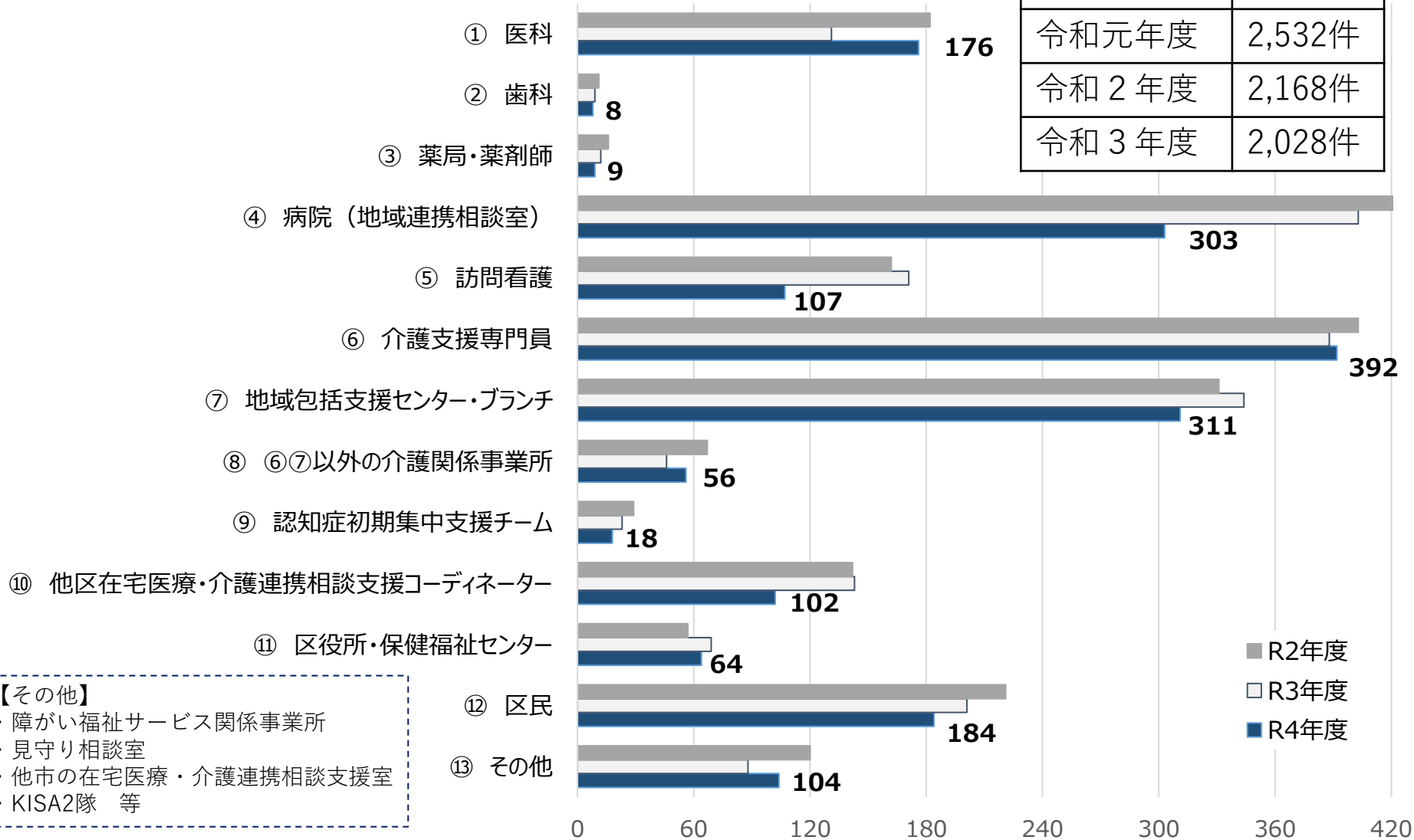
# (工) 医療・介護関係者の情報共有の支援



# (才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

個別ケース相談（相談者別内訳） 相談件数 1,834件

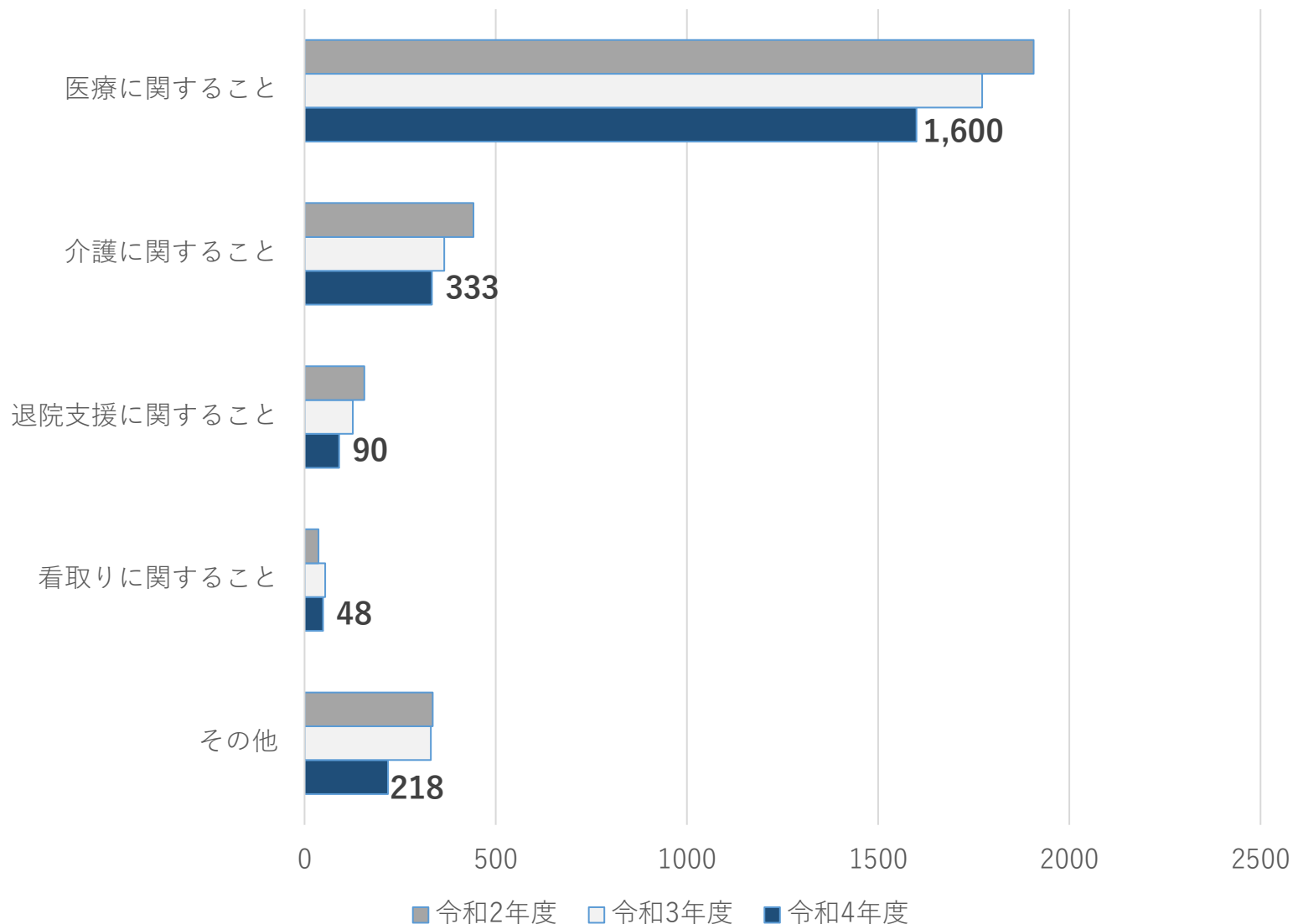
【相談件数】	
平成30年度	2,554件
令和元年度	2,532件
令和2年度	2,168件
令和3年度	2,028件



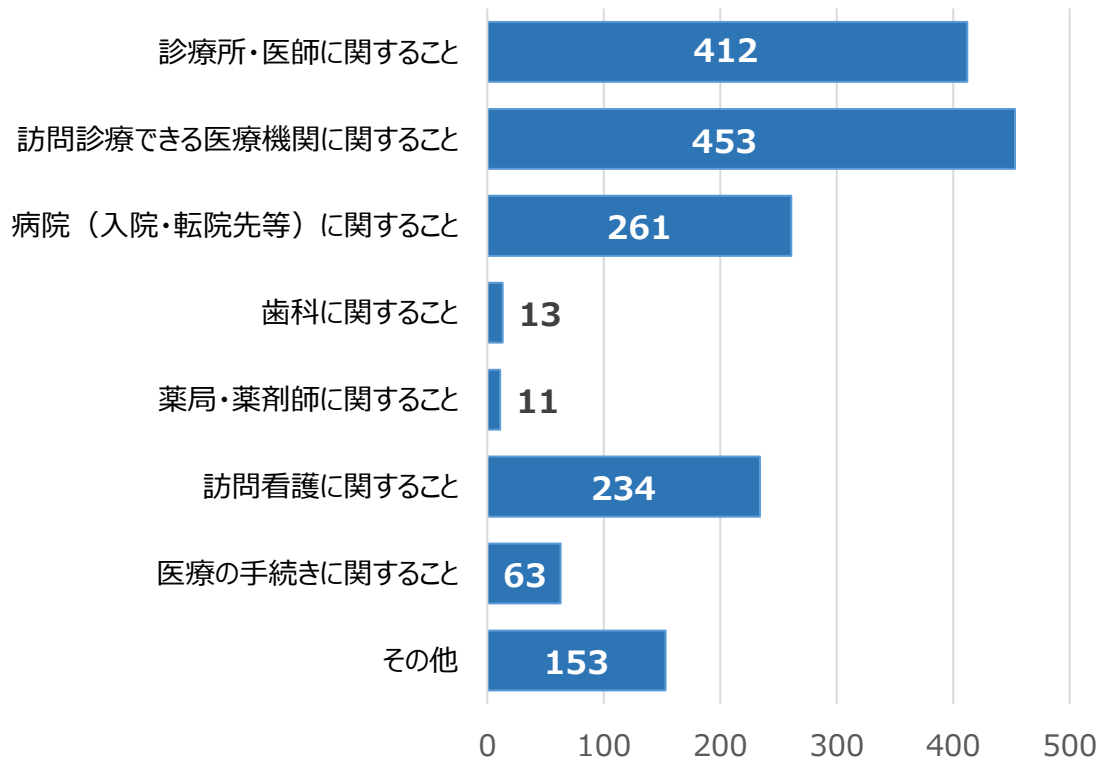
【その他】  
 ・障がい福祉サービス関係事業所  
 ・見守り相談室  
 ・他市の在宅医療・介護連携相談支援室  
 ・KISA2隊 等

病院（地域医療連携室）、介護支援専門員、地域包括支援センターからの相談が多い

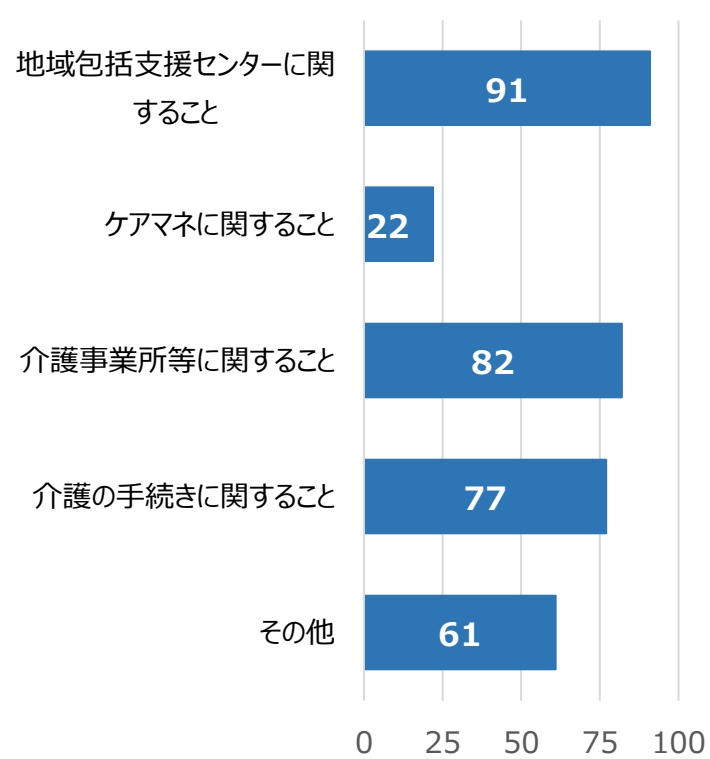
# 個別ケース相談（相談内容別内訳：複数回答）



## 【医療に関すること（内訳）】



## 【介護に関すること（内訳）】



## 会議・研修会等への参加

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
会議出席回数		2,012	2,120	579	1,896	2,213
内 訳	市・区の会議、研修会	721	727	186	615	778
	関係機関との会議、研修会	1,291	1,393	393	1,162	1,435
	（再掲）地域ケア会議	196	144	42	130	143

## **Ⅲ. 区役所・相談支援室 共通の取組み**

# 4つの場面ごとの「めざす姿」

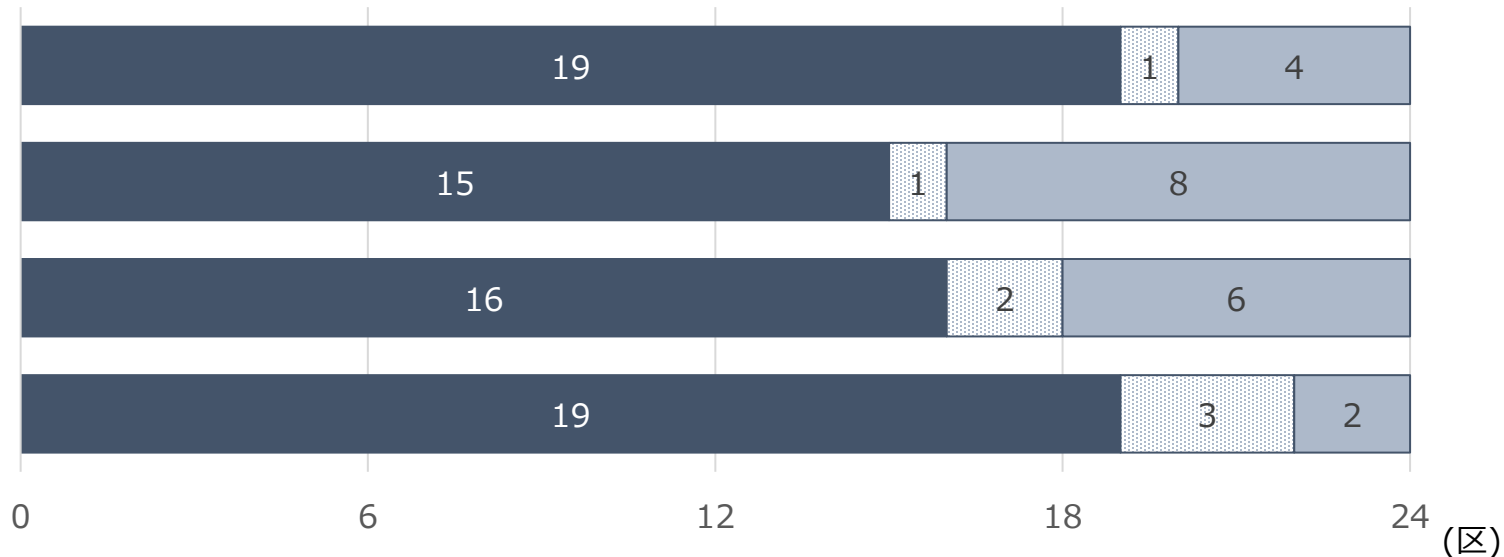
在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）



# 「4つの場面」を意識した取組み状況について

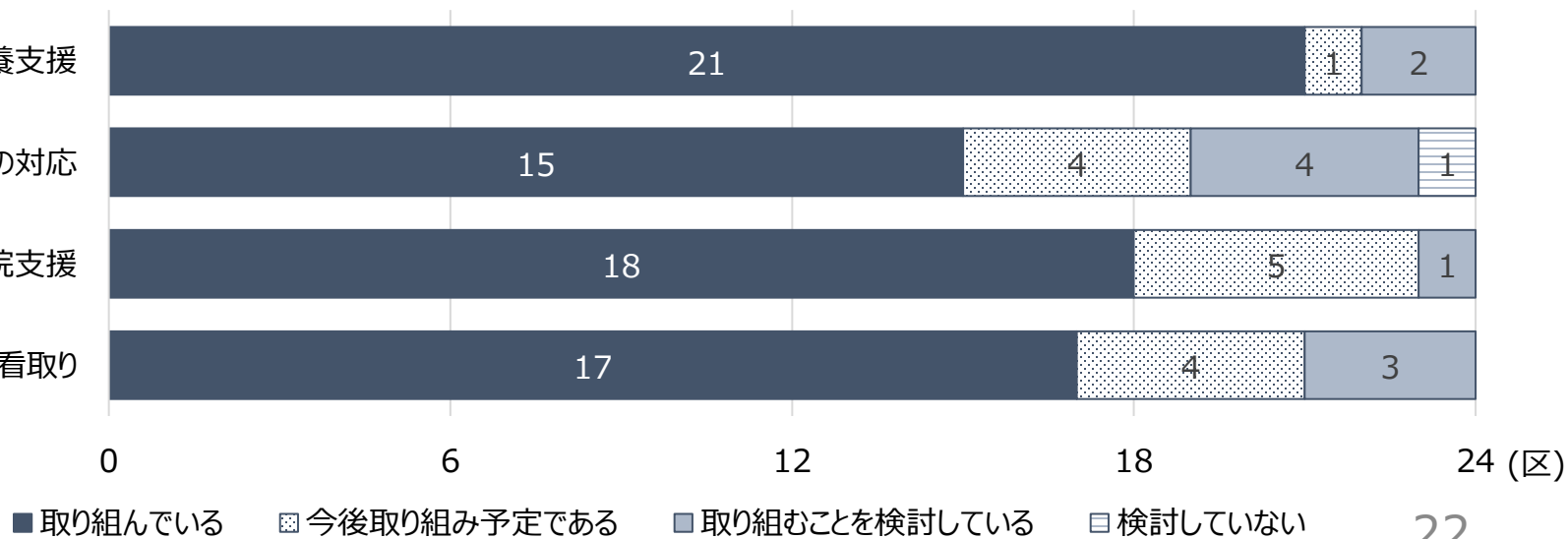
## 【区】

- 1. 日常の療養支援
- 2. 急変時の対応
- 3. 入退院支援
- 4. 看取り



## 【相談支援室】

- 1. 日常の療養支援
- 2. 急変時の対応
- 3. 入退院支援
- 4. 看取り



# 「4つの場面」を意識した取り組み状況について

## 【具体的な取り組み】

### 日常の療養支援

- エチケット集（れんけいのチカラ）を作成し、スムーズな連携に繋げる（東成区・生野区）
- 認知症の人等の介護者（家族）支援について、専門職と一緒に話し合い、啓発ビデオを作成した（旭区）
- 生活支援課とケアマネジャーとの連携についての意見交換、在宅支援のための多職種連携強化のためのケアカフェ開催した（住吉区）

### 入退院支援

- 緩和ケア病棟の病院と訪問診療医との「緩和医療連絡会」の立ち上げに参加。2回開催し医師間の顔の見える関係づくりで連携を深め、末期患者の身近なレスパイト入院先としての周知ができた（福島区）
- 病診連携委員会を定期的を開催しており、区内診療所と近隣病院関係者で情報及び意見交換を行っている（浪速区）

### 急変時の対応

- 若い末期癌患者の緊急一時退院の相談が社協からあり、地域のケアマネジャーと福祉用具業者の協力で介護ベットの搬入ができ1泊だけ自宅に戻ることができた（福島区）
- 救急搬送時の救急隊との連携について多職種と救急隊との意見交換会を開催した（住吉区）

### 看取り

- ACP初の啓発としてVR看取り体験研修会を開催、専門職に看取られる立場を体感して頂き、今後の支援を考えて頂く機会とした（福島区）
- 区民向け講演会で「コロナ禍と人生会議」を開催した（淀川区）
- ACP推進サポーター養成講座の運営を支援した（城東区）